

「犯罪実行者募集の実態 ～少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実～」 【石川県警察】

「闇バイト」は犯罪！ たった一度でも犯罪行為に加担すれば犯行グループからの離脱は困難

■ 基本的パターン

- ① 自らX（旧ツイッター）等のSNSで「高額報酬」等を検索して応募、又は不良交友関係に端を発する知人・先輩からの勧誘
- ② 犯行グループからの指示で匿名性の高いアプリ（主にシグナル）をインストールさせられ、以後、同アプリを使ってやりとり
- ③ 犯行グループから言葉巧みに個人情報を探られ、言われるがまま運転免許証等の身分証明書の写真をアプリで送信
- ④ 業務内容（犯罪行為）が明らかにされ、拒否すれば個人情報を基に脅され、犯行グループから抜け出すことができずに捕まるまで犯罪に加担

■ 【CASE】 犯行グループが指示する業務等の内容

- ・ 「やる気があればたくさん稼げる」「仕事にもよるが1日10万円以上は確実にもらえる」と荷物受け取りの指示を受けた
- ・ 最初は「簡単な運搬の仕事」と説明されたが、後に「報酬を上積みするから違う仕事をして欲しい」「知り合いのオーナーの金塊を取ってきてもらう」等と「タタキ（強盗）」を指示された
- ・ 「相手は詐欺をした奴だから何をしてもいいので金を奪え」「相手は悪いことで金を得た奴だから警察には通報できない」と指示された

■ 【CASE】 犯行グループ等による脅迫行為

- ・ 誘ってきた先輩はヤンキーで怖い人として有名で断ると何かされるかもしれないと思い、「タタキ（強盗）」をすることを決めた
- ・ ワイヤレスイヤホンで指示役から「家に入れ」と指示が来たので口答えすると血だらけの他人の写真が送られてきた
- ・ 指示役から「中にもし人がいたら殺しちゃっていいから」と言われ、従わざるを得なかった

■ 【CASE】 「使い捨て」にされる少年たち

- ・ SNSで「闇バイト」に応募した先輩に誘われ「受け子」をしたが、手に入れた現金は全て指定口座に振り込まれ、報酬は一切支払われなかった
- ・ 「報酬は後でまとめて支払う」と言われていたが、結局一度も支払われることがないまま逮捕された
- ・ 受け子としてキャリアケースを持って全国を転々とさせられ、逮捕されるまでホテルや漫画喫茶に寝泊まりしながら犯行を続けていた

犯罪実行者募集に応募した少年の動機

■ 安易な考えから犯罪に加担しエスカレート

- ・ 過去に特殊詐欺の受け子などの経験があったので「どんな案件でもできるだろう、金を手に入れてやろう」と思い「タタキ（強盗）」に応募した
- ・ 小遣い以外で自分で自由に使えるお金が手に入ると思い「やります」と答えた

検挙された少年たちの声

■ 犯行前後の心境・同じ過ちを犯さないために伝えたいこと

- ・ 「やりたくないけど後には引けない。警察に捕まったらどうしよう」「犯行グループから脅されて抜け出せなかった。後悔している」
- ・ 「今後も犯行グループからしつこく誘われないか、家族に影響が及ばないかと思うと不安で仕方ない」
- ・ 「「闇バイト」に手を染めれば必ず捕まる。家族に相談するなど勇気を持って断ってほしい」